

たがしまの森林を未来へつなぐ

8月11日は「山の日」

岳(がく)くんと嶺(れい)ちゃん
は森の案内人ヒデさんに連れ
られて、森へ入り森林の働きにつ
いて話を聞きました。

案内人…山の日
は昨年から国民の祝日になっ
ているんだ。

案内人…鳥国の日本は「海の文化」
「山の文化」が融合して美しい文
化を創り出している。海に感謝す
る「海の日」があることから、美
しい山々を守り豊かな自然に感謝
する。山のことを考えたり、山に
親しむ機会が増えればと「山の日」
がつくられたんだよ。
案内人…ふたりは森に来てみてど
のことなの。

んな感じがする。

れい…なんだか気持ちいい。

がく…鳥の声も聞こえて気持ち
が落ち着く感じがするよ。

案内人…そうだね。人の気持ちを
落ち着かせたり、気持ちよくする
のも森の重要な働きのひとつなん
だ。そして鳥や動物たちが住みか
にできる環境を作り出しているの
も森の働きなんだね。

他にも森にはいろんな働きがある
ことを、これから見ていくよ。

れい…はーい。楽しみ。

がく…いろんな動物や植物にあ
えるといいな。

3人は森の中へと足を進めま
す。そして、いろんな森の働きを
知ることになります。

また、現在の森の心配事も知る
ことに…

【森林の多面的機能】

森林は、私たちの暮らしに欠かすことのできないさまざまな恵みを与えてく
れています。水や空気、災害を防ぐこと、家づくりに使う木材、さまざまな生
き物のすみか、三酸化炭素の吸収など。これらは健全な森林の働きによって得
られるものです。

これら森林の持つ働き(多面的機能)が十分発揮されるような「森林づくり」
を進めていかなければなりません。

「緑のダム」

案内人：森林は「緑のダム」って呼ばれているんだけど知っているかな。
れい：ダムは川にあるもんだよね。なんで山にあるの？



案内人：森林に降った雨や雪は、すぐに流れ出ることなく、地面にしみこみ、ゆっくりと流れ出すんだ。このため、洪水や濁水を防いだり、澄んだ美しい水を私たちに与えてくれる。この働きのことを「水源涵養（すいげんかんよう）機能」っていうんだよ。



間伐の実施状況
木を間引くことで木の成長を促します。

や南極の氷がとけて海面が高くなってしまつから、低い土地は海面に沈んでしまう。台風だって、とてつもなく大きいのが沢山やってくるようになる。砂漠が広がって作物ができない農地がふえる。私たちが住みづらくなってしまう可能性があるよ。

がく：何かいい方法はないのかな。
案内人：二酸化炭素を減らすには、元気な森林をつくるのが大切なんだ。森林にたくさん二酸化炭素を吸い込んでもらうためには、山に木を植えたり、しっかり手入れして元気な森林をつくる必要がある。1本の元気なスギは1年で14キログラムの二酸化炭素を吸い込んでくれる。これは車1台が出す量を吸収するのに、約160本のスギの木が必要になるんだ。

【地球温暖化防止機能 / 地球環境保全機能】

地球温暖化をもたらす二酸化炭素を森林は光合成により吸収し、貯蔵します。日本の森林が光合成によって吸収する二酸化炭素は年間で1億トンで、国内の全自家用乗用車の排出する量の約7割に相当します。

【水源涵養機能 / 緑のダム】

元気な森林の土壌は、土の中にたくさんのすき間があって、スポンジのようにたくさんの水をたくわえてくれます。雨が土の中に浸透し、ゆっくりと河川に流されることで、洪水や濁水が緩和されます。このため森林は「緑のダム」と呼ばれることがあります。

3人が進むと・・・辺りがうす暗くなってきました。
案内人：スギの木が植えられているけど、今までの林と何が違うかわかるかな。
がく：暗くてスギの木の周りに草がはえてないね。



れい：木もヒョロヒョロで根っこが見えてるよ。大丈夫かな。
案内人：このスギの林は人の手によって苗が植えられたんだけど、



どんぐりプロジェクト
地元の子どもや企業の協力によって森林の再生が行われています。

「木材の利用」

れい：森にはたくさん木がはえているけど、何に使われるのかしら。



がく：学校では、体育館の床や跳び箱、家でも、柱や床、テーブル、タンスは木でできているね。
案内人：日本人は、昔からいろいろなものに木材を使ってきたんだ。

あまり手入れができていないな。しっかり手をいれて適正に管理をされないと、健康な森林の働きができなくなるんだ。今、こんな不健康な森林が増えてきているんだ。れい：森林が不健康になると、どうなるの？



案内人：雨が降るたびに洪水が起きたり、雨が降らないとすぐに濁水になったりするから私たちの生活にも影響があるんだよ。
れい：人も森林も健康が1番だね。



「温暖化の抑制」
がく：森林は二酸化炭素を吸い込んで酸素をつくるんだよね。
れい：「光合成」でしょ。

家も木材でつくってきたし、炊いたご飯を入れるおひつやすし桶、お酒やしょう油を入れる樽も木材でできていたんだよ。
日本で、木材がいろいろなところに使われたのは、身近に森がたくさんあって、木材が手に入りやすかったからなんだ。それに、木材は、丈夫なわりには軽くて、割ったり、削ったりしやすい、便利な材料なんだ。

日本は面積の7割が森林で、その4割が人が植えた人工林なんだ。人工林は、手入れをしないと健康に育たない。けれど、木を伐って使えば、森が健康になるんだよ。

木を伐って木材を使うことは、森が無くなるので自然破壊と考えている人が多いけど、木は生き物だから太陽の光を浴びて、すくすくと育っているんだ。その育った分だけ木材を使えば、木材は減ることはないのよ、森も無くなることはないんだよ。

森を守るためには、森を育て、木材をつくり出してくれる林業を活発にすることが必要なんだ。そのためには、日本で育った木を使うことが大切なんだよ。
ところで、「やすむ」って漢字書けるかな？



森林環境学習やまのこ
市内の小学4年生が森林のはたらきを学びます。

案内人：よく知ってるね。地球が誕生してから森林が光合成をして二酸化炭素をどんどん吸い込んで、今の環境をつくったんだ。その地球がどんどん暑くなっているって知ってる？
がく：地球温暖化だよ。



れい：このまま暑くなるとどうなっちゃうの。
案内人：地球が暑くなると、北極

がく：にんべんに木と書いて「休」だね。あれ！人と木が寄り添っているね。



れい：人は木と一緒にいると休まるってことなのね。



【木材等生産機能】

木材をはじめとする林産物を供給する機能は、立木の伐採と木材としての利用など、人間が森林資源を活用することにより初めて発揮されます。森林の一部は伐採されることとなりますが、その跡地に森林を再生させることで、将来の木材生産機能を再生することができます。



高性能機械による施業



木材利用促進の動き～承認取得の動き～

森林組合では、持続可能な森林の利用と保護をはかるため、森林認証の取得を目指しています。

山と木と人

～森の案内人ヒデさんから～

山の「過小利用」の時代が続ぎ過ぎていくんじゃないか。きつと多くの人がそんな危機感を持っていると思います。

地元の先輩たちと話をしていると、かつては山の資源がじつに多様に使われていたことを教えられます。「この小屋は、ほとんど自分の山の木を使ってつくった。」「母屋もそうだ。土台はクリ、柱はアスナロ、梁はアカマツ、外壁や内壁や天井板はスギ、板戸は天然スギの一枚板、物置の腰板はモミ。」といった具合です。そして、木質繊維、食べられる野生植物、油料植物、炭、燃料用の柴しばや薪、茅かやなど、山はまさに「宝の山」だったのです。

私たちは、かつてと同じような山の利用はできません。需要もありません。でも、大きく育ったスギをはじめ、山には可能性を持った多様な資源があります。これを生かさなない手はありません。具体的なアイデアは思いつかないのですが、そんな分からない、遠いところにあることだからこそ挑戦し

てみる価値があると思うのです。

山が「多面的機能」を發揮するためには、成熟した「大森林」だけではだめです。定期的に草を刈ったり木を伐ったり、必要な木を植えて利用したり、そうした明るくてやさしい環境の山も必要なのです。山全体に、草原から大森林まで多様なステージの生態系があることが理想です。そんな山になることで、より多様な生き物が暮らすようになります。多様な森があつて、多様な生き物がいる。こうしたしつかりした生態系があることで山が安定し、私たちも多様な恩恵を受けることができるのです。

山の日が、山と人、木と人のこれからの多様なかわり方を考える日になればと思っています。



特定非営利活動法人麻生里山センター

理事センター長

海老澤 秀夫さん

山の問題を解決しませんか？

= 「山の相談会」の案内 =

今、かかえている山への不安、心配事はありませんか？山が荒れている。裏山から雨のたびに土砂が流れてくる。サルやシカがよく出てくる。自分の山の場所がわからない。隣との境界がわからない。そんな山の悩みを一緒に解決しましょう。

市では「山の相談会」と題して山についての集落相談会を開催します。

山についての心配事や悩みをお聞かせいただき、集落、市、滋賀県、高島市森林組合でタッグを組んで解決しましょう。

「山の相談会」開催のお問い合わせは、

森林水産課 (25) 8512